

R-パレットシステム 注意事項

【設計上のご注意】

- 植物の種類や植付株数によって60kg/m²以上になる場合もございます。ご確認ください。
- 自動灌水設備が標準装備となります。給水が確保できない場所には施工できません。
- 施工可能な高さには制限があります(地上50m、18階程度)。また海岸から500m以内に該当する場合は、別途機械固定をお薦めしています。
- 下地が平滑であることが条件となります。
- 防水の種類によって、下地処理の手法が変わります。詳しくは各営業窓口へ御相談下さい。

【メンテナンスについて】

- 「R-パレットシステム」による屋上緑化は、ノーメンテナンスではありません。
- 責任施工の場合、1年間の枯れ補償を設けています(その後は、別途メンテナンス契約(有償)にてご対応させていただきます)。
- ※自動灌水設備が無い場合は、枯れ補償の適用外とさせていただきます。ご注意下さい。
- ※「維持管理がなされていない場合」等は補償対象外となりますので、必ず保証書をご確認下さい。
- 基本的なメンテナンスとして管理者様にお願いする事項があります。
- 格子基盤材「R-パネル」が著しく破損した場合、専用耐候性塗料(別途)での補修が必要となります。

【その他】

- 一部地域によっては、販売できないことがあります。
- ご要望頂きました場合、初回点検サービスがご利用頂けます。対象エリアは、下記メンテナンスサービス対象地域のみになります。

R-パレットシステム メンテナンスサービスのご案内

■対象地域について

メンテナンスサービスは地域限定です。詳しくは下の図をご確認下さい。

■3つのオリジナルポイント!

① 植物の健全な状態を保ちます

枯れなどの問題の予兆を早期に発見し、未然に防ぐための対策を、お客様に相談の上実施します。

② お客様や利用される方とのコミュニケーションを大切にします

- 事前のご連絡を欠かしません。
- 作業中も利用される方とのコミュニケーションを積極的にとります。
- 作業後は写真付き報告書を提出します。

③ リーズナブルな料金体系

年間6回のメンテナンスで、価格はリーズナブルに抑えました。
(当社従来比70%)。
導入していただきやすい価格にしております。一度お問い合わせください。

IT管理による安心サポート

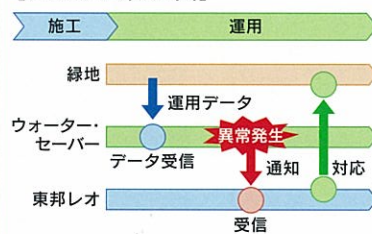
(メンテナンスサービスのオプション)

緑化を維持する中でもっとも重要なのが水管理。一度のトラブルが大きな損害を招き、多額の修繕費用が発生することもあります。

ウォーター・セーバー(灌水異常通知システム)

月額わずかな費用で、自動灌水システムのトラブルを回避するシステムです。メンテナンスサービスと併せてご利用下さい。詳細はお問合せください。

【システム概念図】

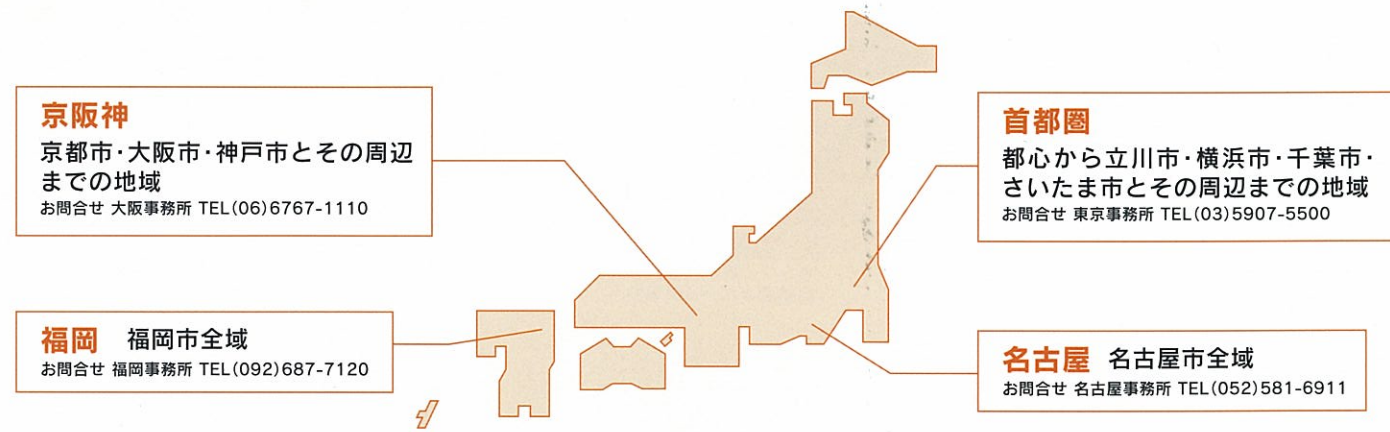


【ウォーター・セーバー】



ウォーター・セーバーは水流を常時監視し、異常発生時はリアルタイムでメールを発信します。

メンテナンスサービス対象地域



サービスについて詳しくはお問合せ下さい。別途パンフレットもご用意しております。

※初年度無料メンテナンスサービスにつきましては、2011年9月15日をもって終了させて頂きました。ご利用ありがとうございました。

薄層屋上緑化に、芝生・セダムに続く「第三の選択肢」

R-パレットシステム

60kg/m²以下の
超軽量なシステム
※既存建物にも施工可能

木本類を含む
グランドカバー
(地被類)が植栽可能

自動灌水システムが
標準装備
※水やりの手間を軽減します



R-パレットシステム

薄層屋上緑化に、芝生・セダムに続く「第三の選択肢」

軽量×多彩な植栽

景観性×省メンテナンス

を実現。

軽量化と土壌厚みを両立させた新しい基盤「R-パネル」の開発によって生まれた、新しい薄層屋上緑化システムです。

R-パレットシステムの特徴

格子基盤…R-パネル

厳しい荷重条件でも土壌の厚みを確保できるように、嵩上げと貯・排水の機能を兼ね備えた基盤を開発しました。(特許申請中)

連結

パネルを連結することで、土壌空間の連続性を確保するだけでなく、面的な排水が行えます。

底面給水

R-パネルは底面に水が溜まる形状になっているので、少ない散水で十分な給水効果が得られます。

雑草対策

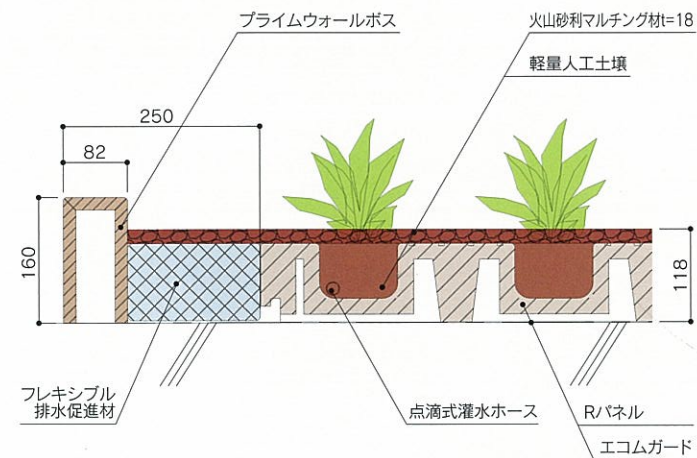
植付けた植物の間の空間は、R-パネルの凸部にあたるため、土がなく雑草も生えにくくなります。



植物植え付け位置 通常は16ポット植栽 (最大48ポットまで植栽可能です)

システム厚 118mm～ ※植物の種類や植付株数によって前後します
荷重 60kg/m²*

R-パレットシステム断面図



R-パレットシステムの断熱効果

夏場のコンクリートは驚くほど熱くなります。R-パネルの底面温度とコンクリート露出面では、日中20℃以上の温度差があります。土やR-パレットシステムの断熱性と植物の水分コントロール(蒸散活動)による効果です。



このような植物を植えることができます!(参考例)



リュウノヒゲ



フィリヤブラン



フィリフェラオーレア



シバザクラ

完成イメージ

植物の葉や花の色を生かしたデザインが大きな魅力です。



リュウノヒゲ・ヤブラン・フィリフェラオーレア使用



フィリヤブラン・ヤブラン・シバザクラ使用



フィリヤブラン・リュウノヒゲ・シバザクラ・タマダレ使用

施工の流れ



施工前状況



耐根シートの設置



専用見切り材(プライムウォール ボス)の設置



R-パネルの設置



フレキシブル排水促進材の設置
自動灌水ホースの敷設



人工土壌の搬入



人工土壌の敷き均し



植栽後マルチング材を敷き均して完成



施工直後状況